

事務事業マネジメントシート(平成21年度実績と平成22年度計画)

事務事業名		パーク＆ライド整備事業					☒ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり				所属部	総務企画部	課長名	濱田 善也
	施策	4	公共交通の充実				所属課	企画財政課	担当者名	坂井 竹志
	施策の柱	12	公共交通の連携による利便性の向上				所属班	政策企画班	(内線)	1245
予算科目		会計一般	款2	項1	目9	事業連番11368	根拠法令	成果優先度評価結果 : ⑥ コスト削減優先度評価結果 : ⑨		
終了、開始年度		☐ 21年度で終了 ☐ 21年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始年度 20 ~ 21 年度) ☒ 期間限定複数年度		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	国道3号熊本北バイパス高架下の新須屋駅に隣接して、パーク＆ライド駐車場を整備する事業。整備規模は、アスファルト舗装約2、300㎡、収容台数72台、施設内照明設備を予定し、事業費は約16、000千円となっている。また、この事業は平成20年度の「地域活性化・生活対策臨時交付金」の対象事業となっており、平成21年度繰越事業として、平成20年度合志市一般会計繰越明許費からの歳出予算となった。整備後は、平成21年7月より合志市地域公共交通計画に基づく実証実験として運用を開始した。北バイパス新須屋駅周辺は、合志市総合計画にある交通結節点強化事業のひとつとして位置づけられ、熊本都市圏都市交通アクションプログラムにおいても交通結節点としての機能強化が謳われている。熊本電鉄が平成19年8月に、平成20年3月の国道3号熊本北バイパスの供用開始にあわせ、新須屋駅を北バイパス高架下へ移設した。国道3号熊本北バイパスの全線開通と路線バス運行や本市公共交通事業が本格化することにより、さらに南部の交通結節点として重要性が高まると考えられ、駅利用者の利便性向上とエコ通勤、交通渋滞緩和を目的として本駐車場を整備した。
【業務の流れ】	事業に係る国土交通省や関係機関との協議及び施設整備を行う。
【主な予算費目】	工事請負費
【意見や要望】	特になし。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動) (DO)		22年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)	
アスファルト舗装(約2、300㎡)及び照明設備の整備			
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ ア: 駐車場整備の進捗率	%		
→ イ:			
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)	
新須屋駅利用者	→ ア: 利用者数	人	
	→ イ:		
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)	
電車の利用がしやすくなる。	→ ア: P & Rの利用率	%	
	→ イ:		
*③成果指標設定の理由と22年度目標値設定の根拠			総トータルコスト 全体計画 ~21年度 17,115.66

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度実績(決算)	20年度実績(決算)	21年度目標(当初予算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	23年度予定	24年度見込	見込
① 活動指標	ア	%	0	20	100	100	0	0	0	
	イ									
② 対象指標	ア	人	0	0	58	8	0	0	0	
	イ									
③ 成果指標	ア	%	0	0	80	11	0	0	0	
	イ									
投資入費量	事業内訳	国庫支出金	千円		13,000	13,000				
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円		5,000	3,252				
	人件費	(A) 事業費計	千円	0	0	18,000	16,252	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	0	3	2	4	0	0	0
人件費		延べ業務時間	時間	0	117	60	140	0	0	0
		(B) 人件費計	千円	0	468	238	557	0	0	0
		トータルコスト(A)+(B)	千円	0	468	18,238	16,809	0	0	0

事務事業名	パーク＆ライド整備事業	所属部	総務企画部	所属課	企画財政課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は21年度の後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	②22年度目標達成見込み	☐ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 21年度で終了。22年度は運営事業へ移行する。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業）⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 類似事業がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 21年度で終了。22年度は運営事業へ移行する。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 21年度で終了。22年度は運営事業へ移行する。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 当該駐車場の利用者は広く一般市民を対象としているため、公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☐ 役割分担は適正である ⇒【理由】 整備事業のため役割分担はない。

3 評価結果の総括（CHECK）

整備事業を完了した。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☒廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																							